

平成23年度（2011年度）

市民意識調査報告書

* — * — はじめに — * — *

南丹市も、市制を施行して早や5年が経過しました。

私は、南丹市が誇りときずなで満ち溢れるようなまちにしたいとの思いから、総合振興計画の策定に着手し、その着実な実行を主眼においてさまざまな取り組みを進めて参りました。

本年3月に発生した東日本大震災では、多くの方の尊い生命や財産が奪われたとともに、多くの企業、事業所も被災し、日本経済に大きな打撃となりました。また、福島第一原子力発電所事故によるエネルギー施策の転換や節電による企業の生産力低下など、東北、関東地域に限らず、全国的にさまざまな分野において大きな変化が生じており、今後においても、財政的にも厳しい状況が続くものと予想されます。

このような中で、市民の皆さんに満足できる生活を送っていただくためには、ニーズを知り、より良い行政サービスへの的確に転換して行く事が重要であると考えています。

そこで、「市民意識調査」を実施し、市民の皆さんがまちづくりに対しどのような実感を持たれているのかについて把握することとしました。

本報告書は、平成23年度に実施した意識調査の結果を基に、市の置かれている状況や課題などを整理したもので、今後のまちづくりの参考資料として大いに活用していきたいと考えます。

最後に、本調査にご協力いただいた市民の皆さんに改めて御礼を申し上げます。

平成23年 8月

南丹市長 佐々木 稔 納

* — * — 目 次 — * — *

はじめに	1
目次	3
調査概要	5
集計結果	13
(1) 住みやすいと感じている市民の割合	14
(2) 魅力あるまちだと感じている市民の割合	15
(3) 過去1年間に運動をした市民の割合	16
(4) 安心して医療を受けられる体制だと感じている市民の割合	16
(5) 高齢者が安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合	17
(6) 障がいのある人が安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合	18
(7) 安心して子育てできると感じている市民の割合	19
(8) 地域で子育てができていると感じている市民の割合	20
(9) 子どもたちが適切な教育環境で学んでいると感じている市民の割合	20
(10) 南丹市内の商店（商店街）はにぎわっていると感じている市民の割合	21
(11) 南丹市で生産された産品を意識して購入された市民の割合	22
(12) 南丹市の自然環境が適切に守られていると感じている市民の割合	22
(13) 建築物の色や高さに規制を設けるべきと感じている市民の割合	23
(14) 市政についての確に情報が得られていると感じている市民の割合	24
(15) 災害や防犯に関する情報が、市からの確に提供されていると感じている市民の割合	24
(16) 災害に備え、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備をしている市民の割合	25
(17) 防災の面で安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合	26
(18) 性別や年齢、国籍などによる差別事象は減っていると感じている市民の割合	26
(19) 過去1年間に、人権に関する学習の取り組みをした市民の割合	27
(20) 住んでいる地域には活力があると感じている市民の割合	28
(21) 地域活動や市民の自主的な活動に参加した市民の割合	28
(22) 風俗や伝統などは、自分たちが引き継いでいかなければならないと感じている市民の割合	29
(23) さまざまな分野において、大学などとの交流・連携が盛んに行われていると感じている市民の割合	30
(24) 税金がまちづくりに有効的に活用されていると感じている市民の割合	30
(25) 南丹市が行う行政サービスに、満足していると感じている市民の割合	31
市民からの意見	33
1. 市民の困りごと・心配ごと	
2. まちづくりに対する意見・提案	

* — * — 調 査 概 要 — * — *

1. 調査名 南丹市市民意識調査
2. 調査対象 市民の中から無作為に抽出した 1,400 名
3. 調査方法 調査用紙の郵送法
4. 調査実施期間 平成 23 年（2011 年）6 月 10 日～7 月 8 日
5. 調査時点 調査用紙に記入された時点
6. 回収結果 562 名（回収率 40.1%） 〈前年度比〉増減なし
7. 調査項目

南丹市全般について、医療・福祉、子育て、商業や生活環境、防災や防犯、社会問題、地域活動、公共施設や行政サービスなど、9 つの分野 25 項目について調査をしました。

まず、アンケートの冒頭で、南丹市の「住みやすさ」と「魅力」という大きなテーマについてご意見を聞きました。「住みやすさ」や「魅力」というものは、さまざまな要因が重なって感じられるものだと考えられますが、まずは市民の皆さんが、直感的にどう感じておられるかを知ることが重要です。

その上で、各々の設問を分析すれば、「住みやすさ」や「魅力」のある・なしの原因を探ることができると考えられます。

分 野	質 問 項 目
全 般	住みやすいと感じている市民の割合
	魅力あるまちだと感じている市民の割合
医 療 ・ 福 祉	過去 1 年間に運動をした市民の割合
	安心して医療を受けられる体制だと感じている市民の割合
	高齢者が安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合
	障がいのある人が安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合
子 育 て	安心して子育てできると感じている市民の割合
	地域で子育てができていると感じている市民の割合
	子どもたちが適切な教育環境で学んでいると感じている市民の割合
商 業 ・ 生活環境	南丹市内の商店（商店街）はにぎわっていると感じている市民の割合
	南丹市で生産された産品を意識して購入された市民の割合
	南丹市の自然環境が適切に守られていると感じている市民の割合
	建築物の色や高さに規制を設けるべきと感じている市民の割合
防 災 ・ 防 犯	災害や防犯に関する情報が、市からの確に提供されていると感じている市民の割合
	台風や地震などの災害に備え、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備をしている市民の割合
	防災の面で安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合
社会問題	性別や年齢、国籍などによる差別事象は減っていると感じている市民の割合
	過去 1 年間に、人権に関する学習の取り組みをした市民の割合
地域活動	住んでいる地域には活力があると感じている市民の割合
	地域活動や市民の自主的な活動に参加した市民の割合

分野	質問項目
地域活動	地域で培われてきた風俗や伝統などは、自分たちが引き継いでいかなければならないと感じている市民の割合
	さまざまな分野において、大学などとの交流・連携が盛んに行われていると感じている市民の割合
行政サービス	市政についての確に情報が得られていると感じている市民の割合
	税金がまちづくりに有効的に活用されていると感じている市民の割合
	南丹市が行う行政サービスに、満足していると感じている市民の割合

各質問をお読みいただき、ご自身の率直なお気持ちやお考えに最も近い答えをひとつ選び、番号に○印をつけてください。
また、よろしければ.....に、答えを選んだ理由やご意見をお書きください。

まず、あなたご自身についてお教えてください。(統計結果の分析に活用させていただきます。)

性別	1. 男性	2. 女性		
年齢	1. 18~19歳	2. 20~29歳	3. 30~39歳	4. 40~49歳
	5. 50~59歳	6. 60~69歳	7. 70歳以上	
住所	1. 園部町	2. 八木町	3. 日吉町	4. 美山町
職業	1. 自営業・事業主・農業	2. 勤め人	3. 学生	4. 家事等
	5. パート等	6. 無職	7. その他()	

南丹市全般についてお聞きます。



問1 あなたは、南丹市が住みやすいまちだと思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問2 あなたは、南丹市が魅力あるまちだと感じられますか。

1. 感じる
2. 多少感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

医療・福祉についてお聞きます。



問3 あなたは、過去1年間に、健康や楽しみのために運動をされましたか。

1. ほぼ毎日した
2. 週に数回程度した
3. 月に数回程度した
4. 年間で数回程度した
5. しなかった/できなかった

問 4 あなたは、南丹市において、安心して医療を受けられる体制ができていると思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問 5 あなたは、南丹市が高齢者にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問 6 あなたは、南丹市が障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

子育てについてお聞きします。



問 7 あなたは、南丹市が安心して子育てのできるまちだと思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問 8 あなたは、ご自分の住んでいる地域において、地域全体で子育てを支援する仕組みづくりができていると思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問 9

あなたは、子どもたちが、児童数や生徒数、施設の状況も踏まえ、適切な教育環境で学んでいると思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

商業や生活環境についてお聞きします。



問 10

あなたは、南丹市の商店街（商業）がにぎわっていると思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問 11

あなたは、南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入されていますか。

- 1. そうしている -----
- 2. どちらかといえばそうしている -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそうしていない -----
- 5. そうしていない -----

問 12

あなたは、南丹市において、自然環境が適切に守られていると思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問 13

あなたは、南丹市において、美しい風景や町並みを守るため、個人などが新築、増改築する建築物や工作物の色や高さに規制を設けるべきだと思われませんか。

- 1. そう思う -----
- 2. どちらかといえばそう思う -----
- 3. どちらともいえない -----
- 4. どちらかといえばそう思わない -----
- 5. そう思わない -----

問 14

あなたは、南丹市が発行する広報誌やホームページ、CATVなどを通じて、市政について情報が的確に得られていると感じられますか。

- 1. 得られている
- 2. どちらかといえば得られている
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば得られていない
- 5. 得られていない

防災や防犯についてお聞きします。



問 15

あなたは、災害に関する情報について、市から的確に発信される体制が整備されていると思われませんか。

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえばそう思わない
- 5. そう思わない

問 16

あなたは、台風や地震などの災害にそなえて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備などをされていますか。

- 1. つねに避難できるよう準備している
- 2. ある程度準備している
- 3. 意識はしているが、準備はしていない
- 4. まったく準備していない

問 17

あなたは、南丹市が防災の面で、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえばそう思わない
- 5. そう思わない

社会問題についてお聞きします。



問 18

世の中には、まだまだ性別や国籍、身体的障がいなどによる差別が残っていますが、あなたは、近年南丹市において、これら差別が減ってきていると感じますか。

- 1. 減ってきていると感じる
- 2. 多少減ってきていると感じる
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり減ってきているとは思えない
- 5. 減ってきてはいない

問 19

あなたは、過去 1 年間に、人権問題に関する勉強会、学習会、講演会、セミナーなどに参加されたことがありますか。

1. 何度も参加したことがある
2. 一度は参加したことがある
3. 参加したかったができなかった
4. 参加していない

地域活動についてお聞きします。



問 20

あなたは、ご自分の住んでいる地域に活力があると思われますか。

1. 大きな活力がある
2. 多少の活力がある
3. どちらとも言えない
4. あまり活力はない
5. 全く活力はない

問 21

あなたは、過去 1 年間で、地域におけるさまざまな活動や、市民による自主的な活動に参加されたことがありますか。

1. ほとんど参加した
2. ときどき参加した
3. 参加したかったができなかった
4. 参加していない

問 22

あなたは、地域で培われてきた風俗や伝統、文化などについて、ご自分たちが引き継いでいかなければならないと思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問 23

あなたは、ご自分の住んでいる地域において、大学などとさまざまな分野において、交流・連携が活発に行われていると思われますか。

1. 活発に行われている
2. ある程度行われている
3. どちらともいえない
4. あまり行われていない
5. 全く行われていない

行政サービスについてお聞きします。



問 24 あなたは、市民の税金がまちづくりに効果的に活用されていると思われませんか。

1. 効果的に活用されていると思う -----
2. どちらかといえば効果的に活用されていると思う -----
3. どちらともいえない -----
4. どちらかといえば効果的に活用されているとは思わない -----
5. 効果的に活用されているとは思わない -----

問 25 あなたは、総合的に見て、南丹市が行っている行政サービスに満足していらっしゃいますか。

1. 満足している -----
2. どちらかといえば満足している -----
3. どちらともいえない -----
4. どちらかといえば満足していない -----
5. 満足していない -----

上記の問で、4または5とお答えになった方にお伺いします。どのような点が不満足ですか。具体的にお教えてください。

日常生活の中で、今困っていることや、心配していることがあればお聞かせください。

南丹市のまちづくりに対するご提案や、ご意見をお聞かせください。

**アンケートは以上です。
お忙しいところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。**

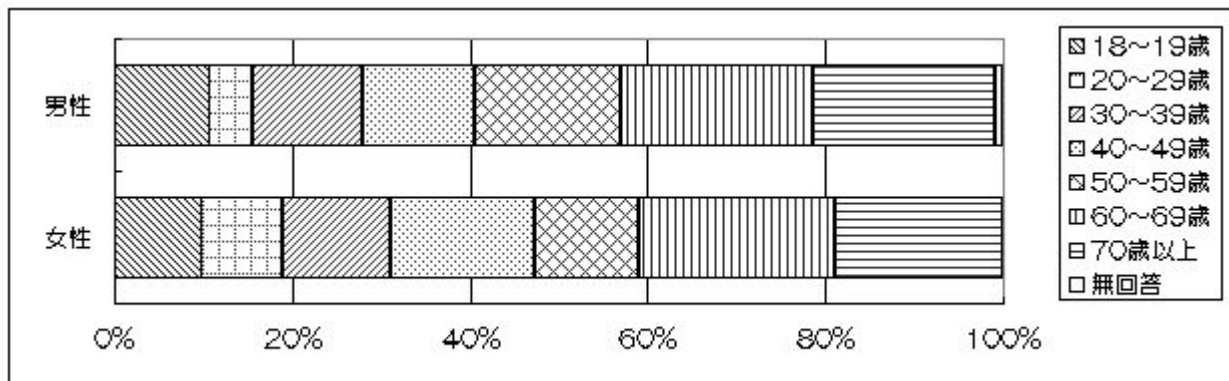
「集計結果」

回答集計から・・・

今回実施した市民意識調査の回答率は、平成22年度の調査と同じ、40.1%となりました。

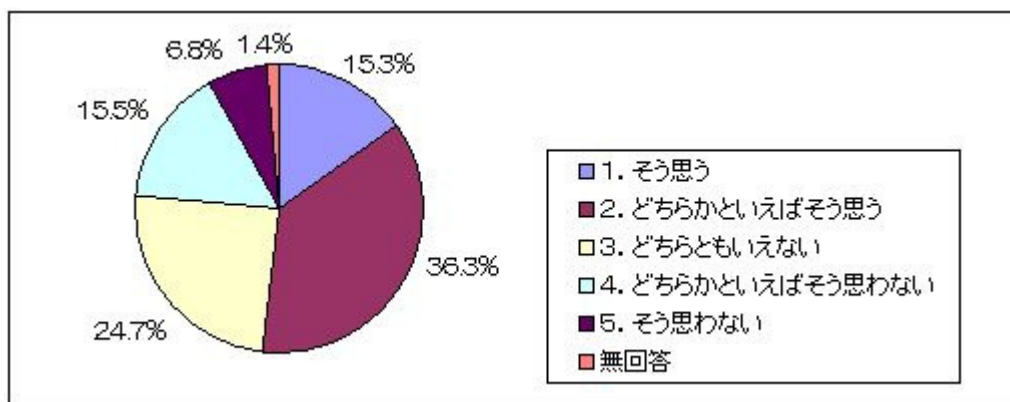
その回答者を男女別・年代別に分析してみると、男性は20代の回答率が男女の全年代を通じて最も低い5%となり、その他は年代が上がるほど回答率が高くなる傾向にあります。

一方、女性の場合も、20代の回答率が9%と低く、男女とも60代の回答率が22%で最も高いという状況になりました。

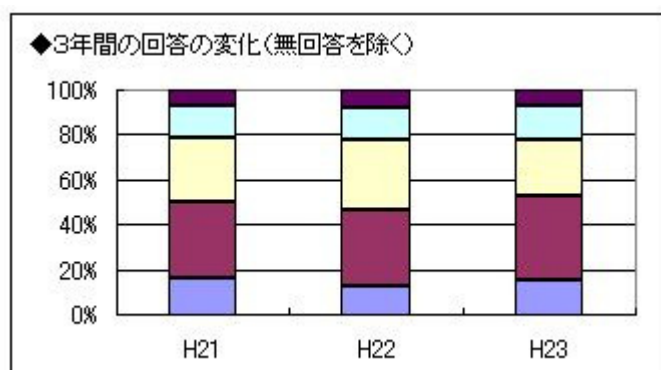


1 南丹市は住みやすいまちだと思うか？

「住みやすいと実感」が50%を回復！



「南丹市が住みやすいまちと思うか」という質問に対して、51.6%の市民の方が「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と答えています。22.3%の市民の方が「住みにくい」または「どちらかといえば住みにくい」と答えています。「住みやすい」(「どちらかといえば住みやすい」を含む)と答えた方の割合は、昨年度調査に比べ5.3ポイント増の51.6%と昨年度下回った50%を回復しました。一方、「住みにくい」(「どちらかといえば住みにくい」を含む)と答えた方の割合は、昨年度調査に比べ0.4ポイント微増となっています。



全体の割合から見ると、南丹市は「比較的住みやすいまち」と判断することができます。

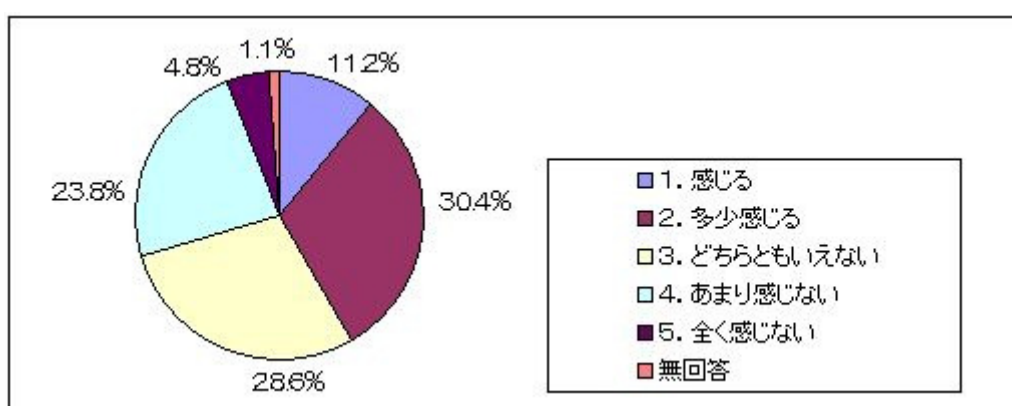
年代別に分析した場合、60代以外の年代では「住みやすい」（「どちらかといえば住みやすい」を含む）と感じている方の割合が50%を超えているのに対し、60代では42.9%と低い状況です。

住所別では園部町の59.7%が高く、美山町の47.2%が最も低くなりました。

「住みにくい」（「どちらかといえば住みにくい」を含む）とする理由として最も多いのは、「交通の便が悪い」で公共交通の不便さを指摘する意見は多く、「住みにくい」とする大きな原因の1つではないかと考えられます。その他の意見としては、「スーパーなどがなく買い物が不便」「遊ぶ施設がない」などが挙がっていました。

2 南丹市は魅力的なまちだと感じるか？

「魅力度」の評価が上昇！

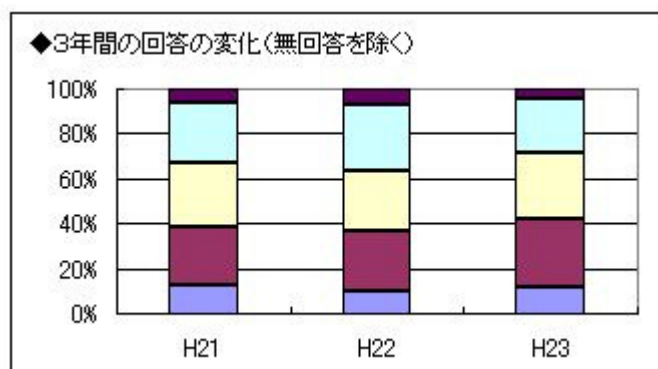


「南丹市が魅力あるまちだと感じるか」という問いに対して、「魅力がある」または「どちらかといえば魅力がある」と答えた方は、昨年度より5.4ポイント増え41.6%、「魅力がない」または「どちらかといえば魅力がない」との答えが、7.6ポイント下がり28.6%となりました。

魅力があるという理由としては、昨年度と同様「自然が豊か」「観光資源が豊富」「空気とみどり、水がきれい」など自然環境の良さを挙げる人が圧倒的多数を占めています。

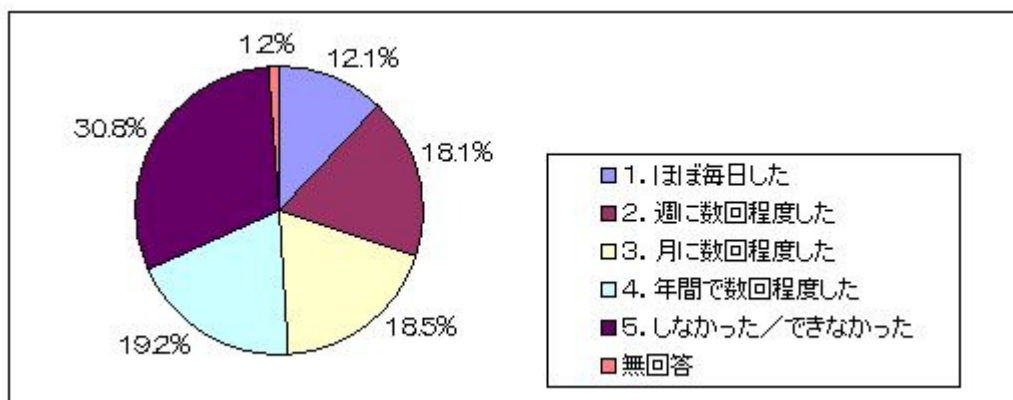
「魅力がある」または「どちらかといえば魅力がある」と答えた方を住所別でみると、美山町が61.4%、他の3町ではいずれも30%代となり、美山町の自然を魅力に感じておられる方が多いことがわかります。

一方、感じないとした理由として、「活気がない」、「閉鎖的」といった意見。また、「行政が魅力を発信できていない」といった行政の取り組みに対する意見もありました。



3 過去1年間に健康や楽しみを目的とした運動をしたか？

市民の2人に1人が月数回以上の運動！

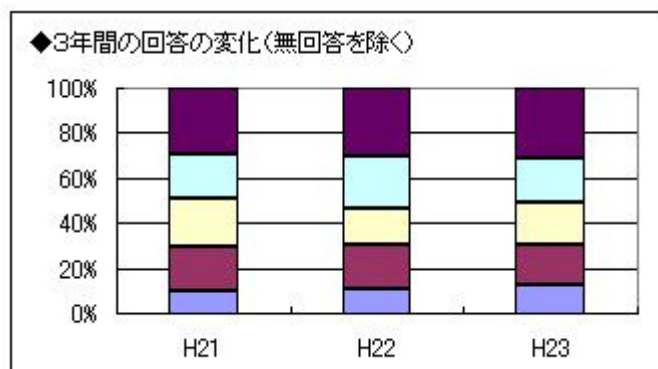


「過去1年間に、健康や楽しみのため運動をしたか」という問に対して、「ほぼ毎日した」「週に数回程度した」「月に数回程度した」と答えた方は48.7%と、前年度の調査結果より2.1ポイント増え、市民の約2人に1人は健康や楽しみのために、何らかの運動をされていることが伺えます。

「ウォーキングをしている」と答えた方が圧倒的に多く、幅広い年齢層の方が、日々の運動として実施されているようです。

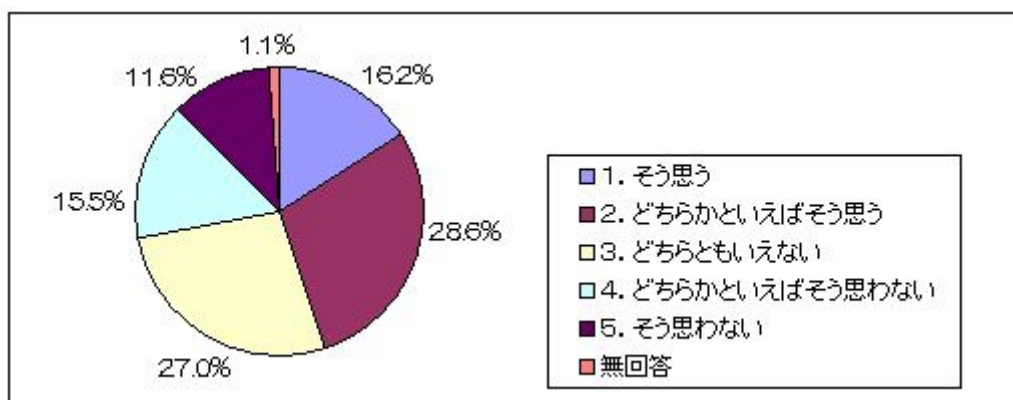
年齢別では大学のサークル活動などを行う10代の69.1%が最も高く、70代以上の方も55.0%の方が健康のため積極的に運動をされています。

なお、実施しなかった理由として、「仕事や育児が忙しくできなかった」「病気のためできなかった」という意見がありました。



4 安心して医療を受けられる体制が整っているか？

市民の4割が「整っている」と回答！

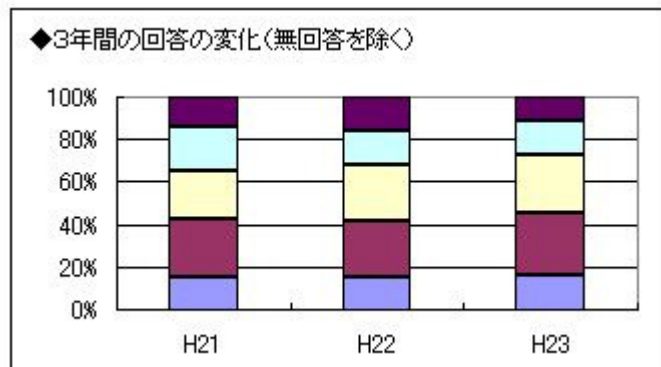


「南丹市において、安心して医療を受けられる体制が整っているか」という問に対して、44.8%の方が「整っている」または「どちらかといえば整っている」と答えられており、「整っていない」（「どちらかといえば整っていない」を含む）と答えた人の割合は 27.1%となっています。

「整っていない」と感じている方が、昨年度の調査から 4.8 ポイント減少し、

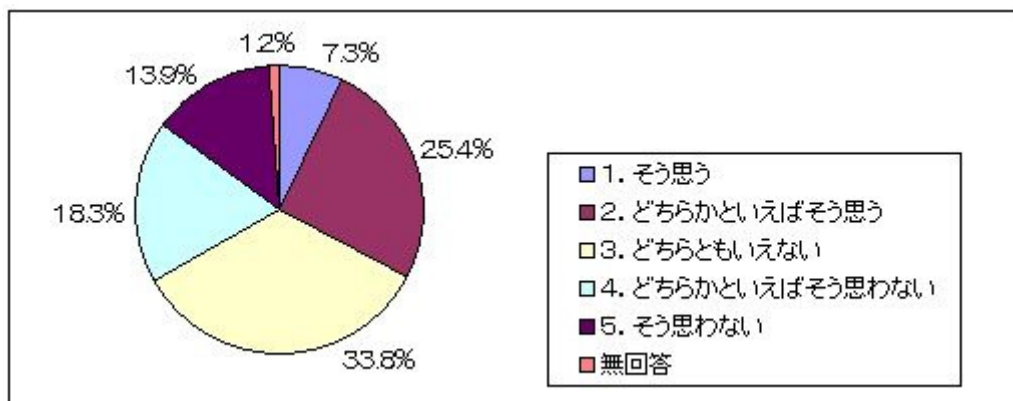
「整っている」と感じている方は 3.1 ポイント増加しています。

住所別では美山町で 25.2%と低く、他の3町では 50%以上と地域による差が表れました。理由として、「皮膚科、産婦人科など専門科目の不足」「総合病院まで遠い」「自動車があるから今は大丈夫」など、一定医療機関はあるものの、医療機関までの距離や交通などアクセスの問題、医療機関の体制の問題など違った側面の課題が同時に存在することが伺えます。



5 高齢者にとって安心して暮らせるまちか？

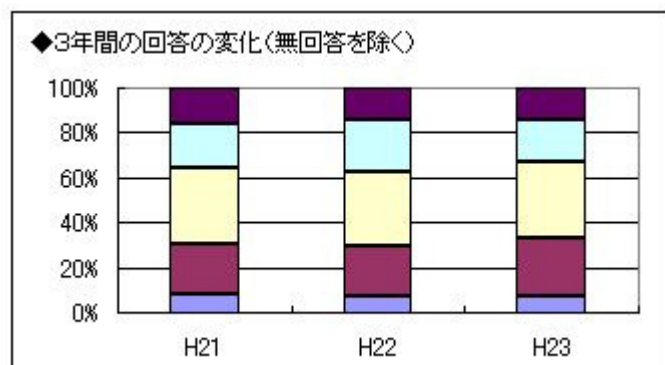
70歳以上では48%以上が「安心」と回答！



「南丹市が高齢者にとって、安心して暮らせるまちか」という問に対して、「安心できる」または「どちらかといえば安心できる」と答えた方は 32.7%、「安心できない」または「どちらかといえば安心できない」と答えた方も 32.7%となっています。

「安心できる」（「どちらかといえば安心できる」を含む）と回答された方の割合は 3.1 ポイント増加したのに対し、安心できない（「どちらかといえば安心できない」を含む）と回答された方の割合は 4.7 ポイント減少しています。

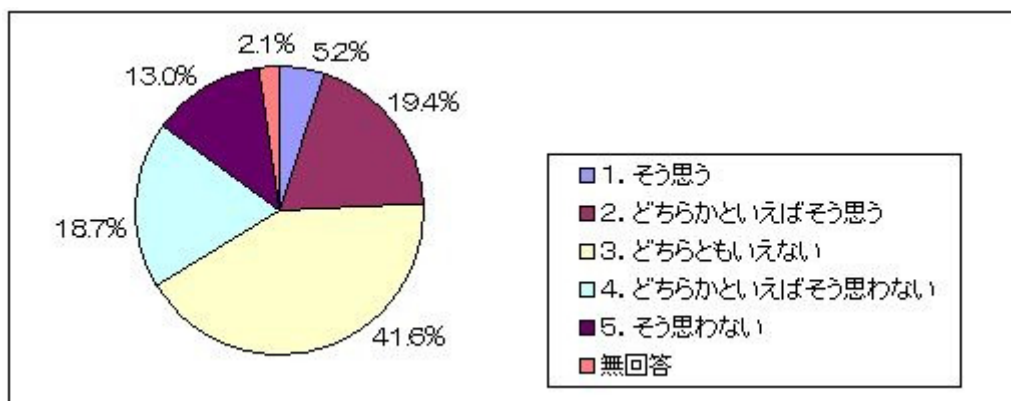
「地域での見守りができている」「スポーツなどで交流がある」など安心できるという意見の一方で、「通院、買い物際の公共交通が不便」「医療機関が遠い」など公共交通の便の悪さや医療体制の不足を指摘する意見が多数を占めています。



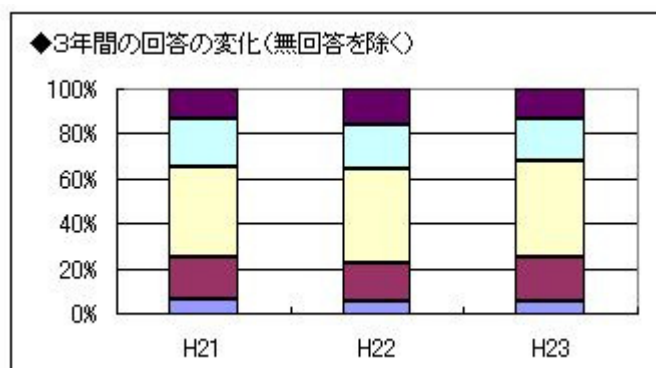
しかし、70歳以上の方からの回答では、48.7%が「安心できる」（「どちらかといえば安心できる」を含む）と回答されており、安心できない（「どちらかといえば安心できない」を含む）と回答された19.8%を大きく上回る結果となっています。

6 障がいのある方にとって安心して暮らせるまちか？

市民の3人に1人が、 「安心して暮らせない」と回答！



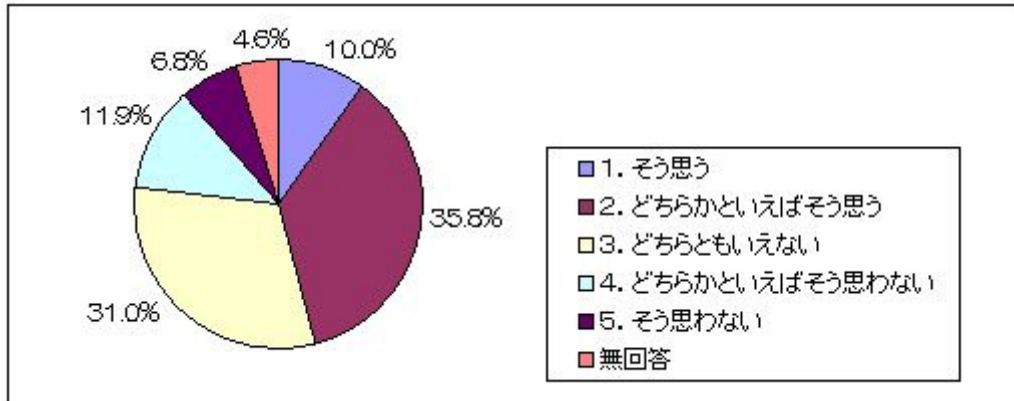
「南丹市が障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちか」という問に対して、「安心できる」または「どちらかといえば安心できる」と答えた方は24.6%と、昨年度調査に比べ3.1ポイント増加しました。一方、「安心できない」または「どちらかといえば安心できない」と答えた方は31.7%と、3.8ポイント減少しましたが安心して暮らせないと感じておられる方が多い状況です。



「安心できない」（「どちらかといえば安心できない」を含む）と答えた方からは、「交通（移動手段）の便が悪い」「駅や公共施設などバリアフリー化が進んでいない」「働ける場所がない」という意見が挙げられていました。ただし、40%を超える方が、どちらともいえないと答えられており、その多くが「わからない」「よく知らない」と答えていることから、実態が市民の方にうまく伝えられていないのではないかと考えられます。

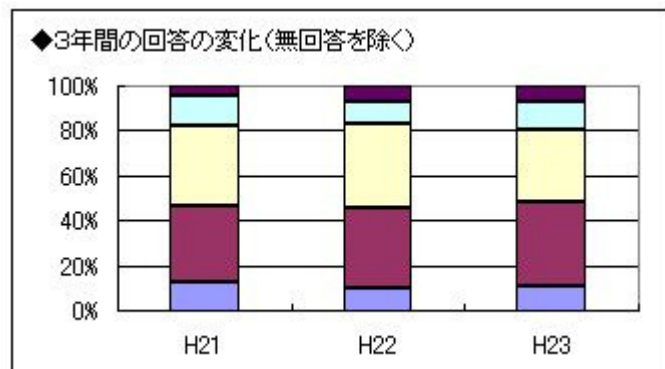
7 安心して子育てのできるまちか？

市民の4割以上が、
「安心して子育てができるまち」と回答！



「南丹市が、安心して子育てのできるまちか」という問に対して、45.8%の方が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えており、「安心できない」（「どちらかといえば安心できない」を含む）の18.7%と大きな差がありました。

しかし、安心できると答えた方が昨年度調査から2.0ポイント増に対し、安心できないと答えた方が5.1ポイント増となり、子育て世代の不安が増加していることが伺えます。

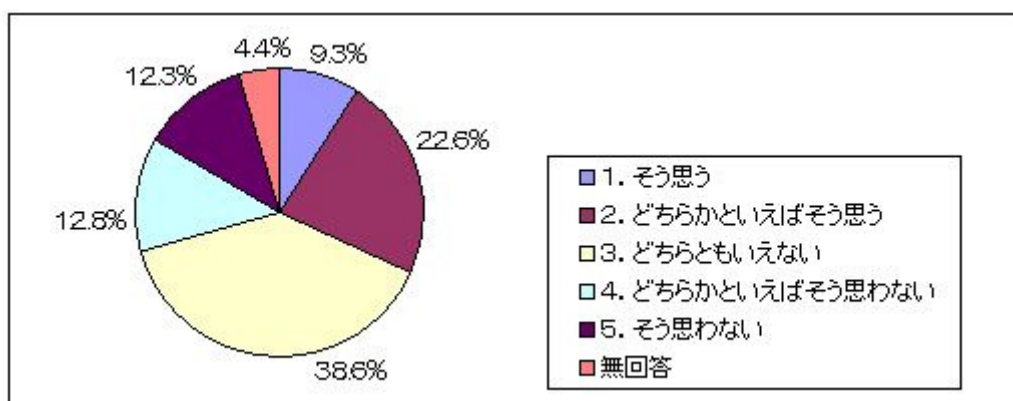


安心できる理由としては、医療の手当や補助金など「市の助成制度がある」や「子育てのボランティアや見守りがされている」という意見が中心でした。

安心できない理由としては「保育所や職場が少なく子育てと仕事の両立ができない」「子どもの数が少なく遊べない」などが多く、「どちらともいえない」という回答も31.0%ありますが、「家族に子どもがいないのでわからない」「地域に子どもがいない」といった意見が中心でした。

8 地域全体で子育てを支援する仕組み作りができていますか？

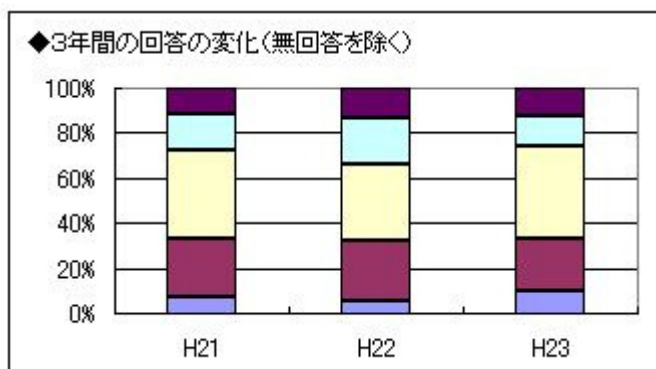
子育て支援の取り組みが広まる！



「お住まいの地域において、地域全体で子育てを支援する仕組みが整っているか」という問では、「できていない」または「どちらかといえばできていない」と答えた方の割合が 25.1%と、昨年度調査の32.8%から7.7ポイントも減少し、「できている」または「どちらかといえばできている」と答えた方の割合は 31.9%と、1.2ポイント増加しました。

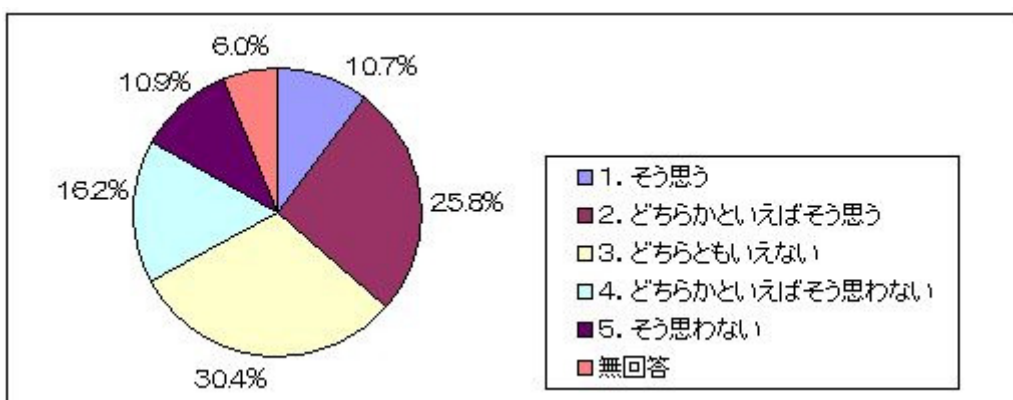
「できている」（「どちらかといえばできている」を含む）と回答された方は「ボランティアで子育て支援されている方が多い」「子育て支援の事業が多い」などボランティアの方々や行政の子育てに関する取り組みが認識されてきたことが伺えます。

「できていない」（「どちらかといえばできていない」を含む）と回答された方からは、「保育所に入れないと聞く」「支援する仕組みが伝わってこない」などの意見がありました。



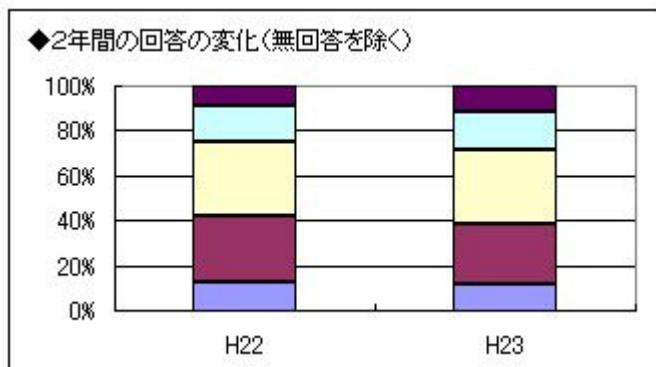
9 子どもたちは、適切な教育環境で学習しているか？

「少人数」という視点で意見が分かれる！



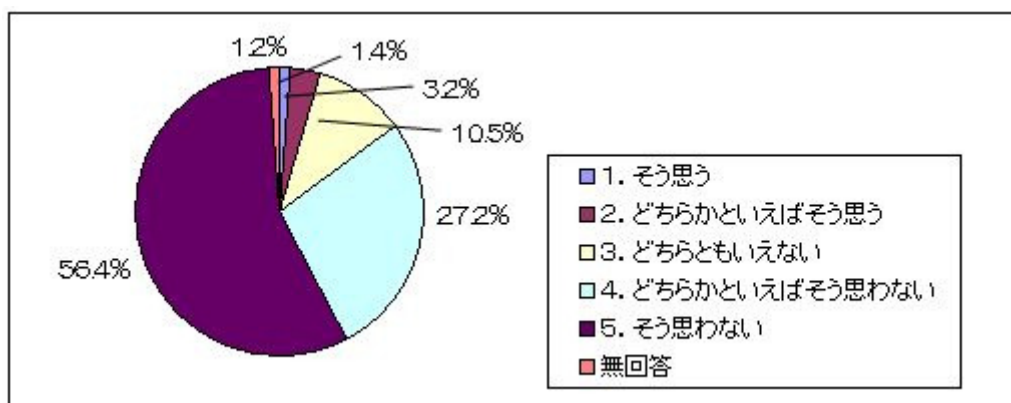
「子どもたちは、適切な教育環境で学習しているか」という問いに対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた方の割合が2.5ポイント減の36.5%、それに対し「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えた方の割合は3.3ポイント増の27.1%となりました。

「適切な教育環境」について、「少人数」のとらえ方で意見が分かれ、「そう思う」と答えた方からは「人数は少ないが充実している」「小学校などの統廃合には反対」との意見があり、反対に「そう思わない」と答えた方からは「児童数が少なく複式学級化が進み適切でない」「児童数が少なくかわいそう」「大勢の中で学べるよう統合を進めるべき」といった意見がありました。



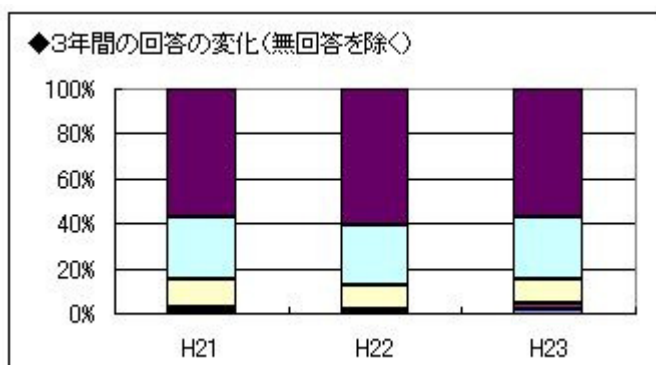
10 南丹市の商店街(商業)はにぎわっているか？

市民の83%の人が、
「にぎわいは感じられない」と回答！



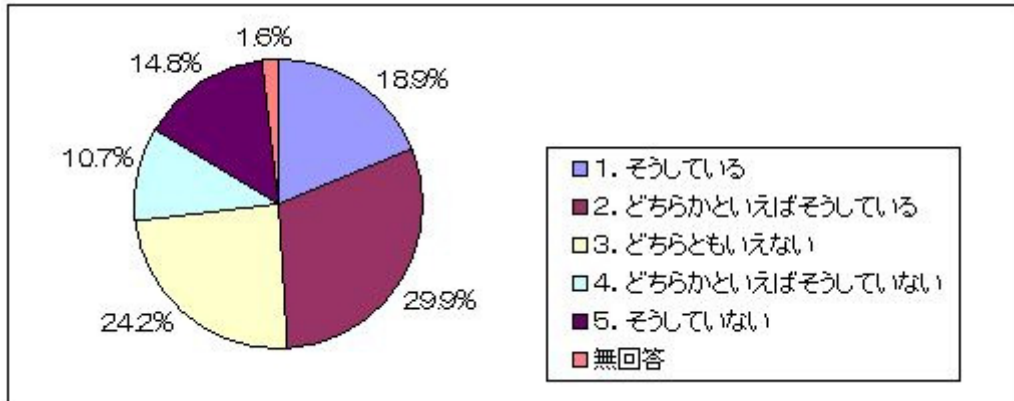
「南丹市の商店街(商業)がにぎわっていると感じるか」という問では、56.4%の方が「にぎわっていない」と回答されており、「どちらかというのにぎわっていない」を含めると83.6%になりました。昨年度調査に比べ、「にぎわっていない」という回答が3.3ポイント減、「どちらかというのにぎわっていない」を含めた場合でも2.8ポイント減となりましたが、にぎわいを感じられない方が大多数を占めています。

一方、「にぎわっている」または「どちらかといえばにぎわっている」と答えた人は、わずか4.6%で、「どちらともいえない」と答えた方からは「にぎわっているところとにぎわっていないところの差が大きい」との意見がありました。依然、「商店街が寂れている」「買い物は大型スーパーに行く」「商店街がシャッター通りになっている」といった意見が出されています。



11 南丹市で生産された産品を意識して購入されているか？

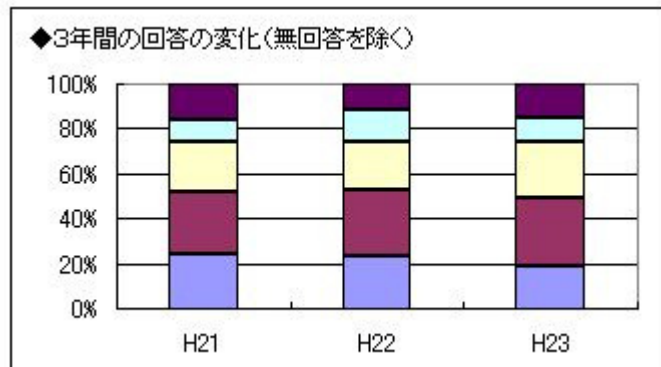
市民の2人に1人が、
意識して購入されている！



「南丹市で生産された野菜などの産品を意識して購入されているか」という問いに対し、18.9%の方が「意識して購入している」と回答されており、また「どちらかといえば意識して購入している」を含めると48.8%となります。

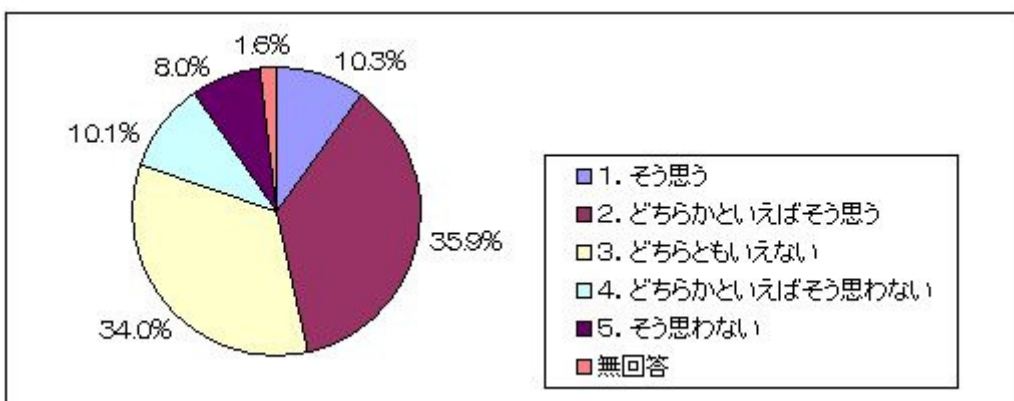
昨年度調査に比べ、「意識して購入している」という方の割合は3.7ポイント減少し、「どちらかといえば意識して購入している」を含めると3.0ポイント減少し

ました。「生産者の顔が見えるので安心」「地産地消の大切さを実感している」といった理由から、10代を除く各世代の方々が意識して地元産の野菜などを購入されています。



12 自然環境が守られていると思うか？

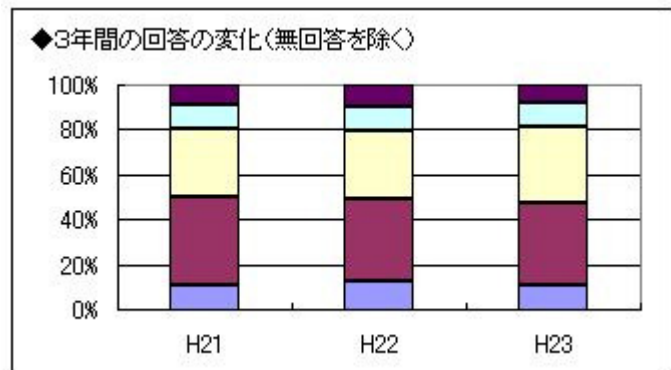
市民の2人に1人が、
「自然は守られている」と回答！



「南丹市において、自然や景観が適切に守られているか」という問では、「守られている」または「どちらかといえば守られている」と回答された方は 46.3%で昨年度調査に比べ 1.6 ポイント減少しています。

一方、「守られていない」「どちらかといえばまもられていない」と回答した方は 18.1%で昨年度調査に比べ 1.8 ポイント減少しました。

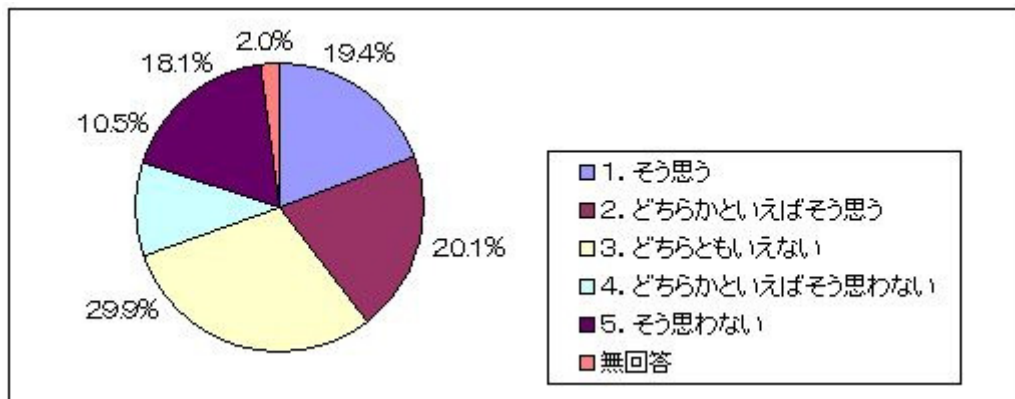
割合からすると、「守られている」または「どちらかといえば守られている」という意見が大半を占めていますが、回答の意見には「自然は守られているというより、放置状態では・・・」「山や川が大変あれている」「町の美しさを感じられない」といった意見があるのも事実です。



13 景観を守るため規制が必要と思うか？

市民の4割が

「建築物の高さや色を規制すべき」と回答！

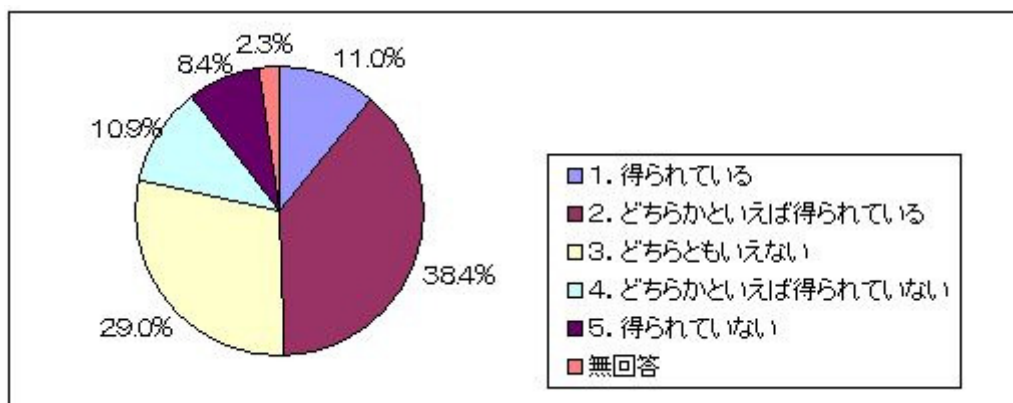


今回初めて調査した項目ですが「南丹市の風景や町並みを守るため、建築物などの高さや色彩に規制を設けるべきか」との問には、39.5%の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答され、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の 28.6%を上回りました。

「そう思う」と答えた方は「地域の特性にあった規制をすべき」「特に美山の風景を残すため規制すべき」などの意見があり、「そう思わない」と答えた方からは「規制を設けることにより住みにくさがる」「建物を規制しなくても自然を守り、風景や町並みを守る方法は他にある」などの意見がありました。

14 市政についての的確に情報が得られているか？

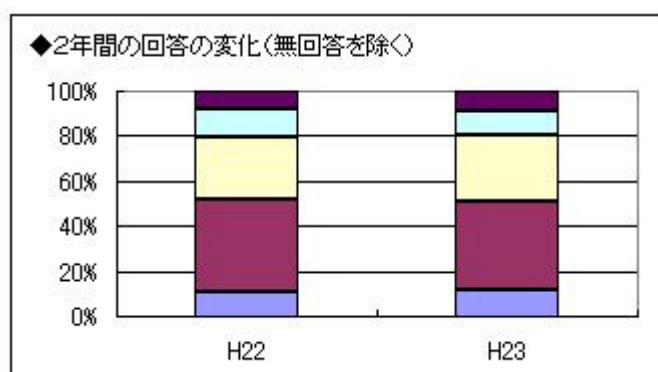
市民の2人に1人は、
「情報は得られている」と回答！



「市政についての的確に情報が得られているか」という問に対して、11.0%の方が「得られている」と回答されており、「どちらかといえば得られている」という回答を含めると49.4%になります。

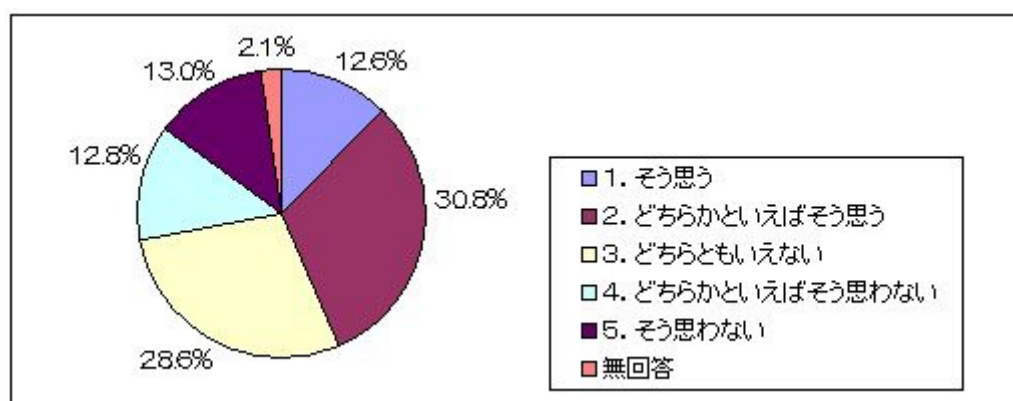
一方、「得られていない」または「どちらかといえば得られていない」と回答された方は19.3%で、市民の半数の方が情報を得られていると答えています。

広報誌、お知らせ、ホームページについては「情報を集約して経費の削減をすべき」「広報誌は月1回にすべき」「ホームページの充実を望む」という意見があり、CATVに対しては、「タイムリーな情報を放送してほしい」「台風時の通行止めなどの情報を流してほしい」などCATVならではの地域に密着した放送を望む意見が多くありました。



15 災害情報が、的確に発信される体制か？

防災無線の整備により、
整っているとする割合は4%UP！

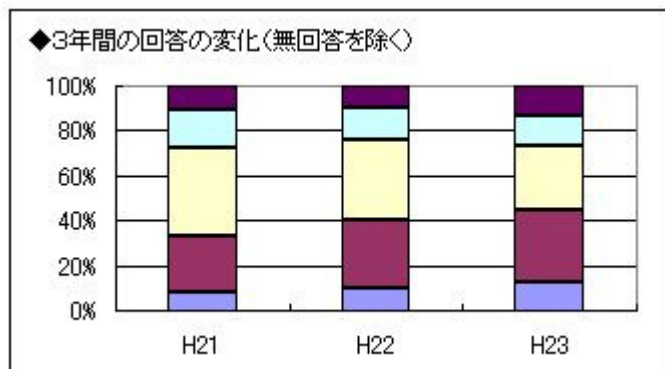


「災害に関する情報について、市からの確に発信される体制が整備されているか」という問では、43.4%の方が「整っている」または「どちらかといえば整っている」と答えられており、昨年度調査から4.0ポイント増となっています。

一方、「整っていない」（「どちらかといえば整っていない」を含む）と答えた方も25.8%と、昨年度調査に比べ2.6ポイント増加しています。

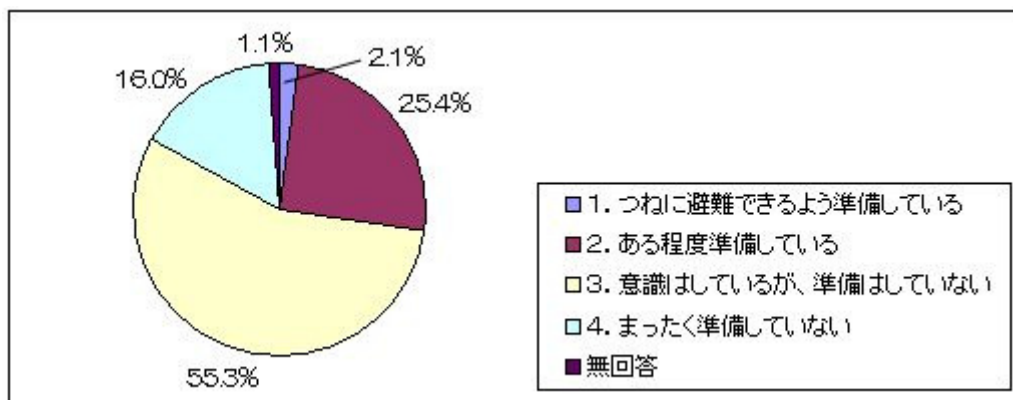
特に美山町では「整っている」（「どちらかといえば整っている」を含む）と答えた方が61.4%と高く、防災無線による情報発信と消防団の活動が充実していることを理由に挙げておられます。

「整っていない」（「どちらかといえば整っていない」を含む）と答えた方は防災無線の設置は評価しながら「災害時に機能するかどうかわからない」「防災無線を活用できていない」「警報発令やJRの情報などを流してほしい」という意見が出されています。



16 避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備は？

「意識はするが準備はしていない」が大半！

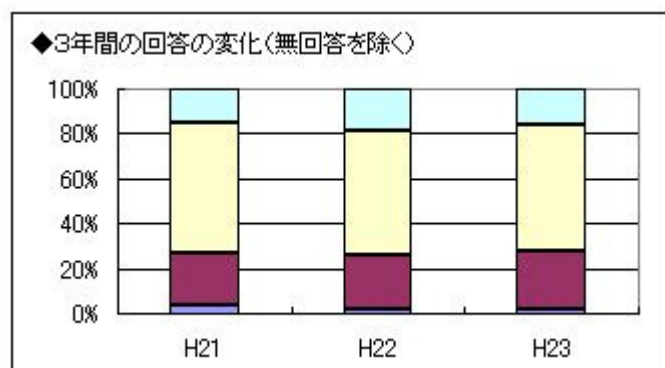


「災害にそなえて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備はしているか」の問に対して、「している」と答えた方はわずか2.1%、「ある程度している」と答えた方を加えても27.5%で、昨年度調査と比べても大きく変わることはなく、市民の4分の1しか何らかの備えをされていないこととなります。

備えをしない理由として、「お金がかかるので用具は準備していない」「飲食品の準備と更新の方法がわからない」という整備や維持管理を問題視されている方もあれば、「面倒くさい」

「京都府は自然災害に見舞われにくいので準備していない」という回答をされている方もありました。

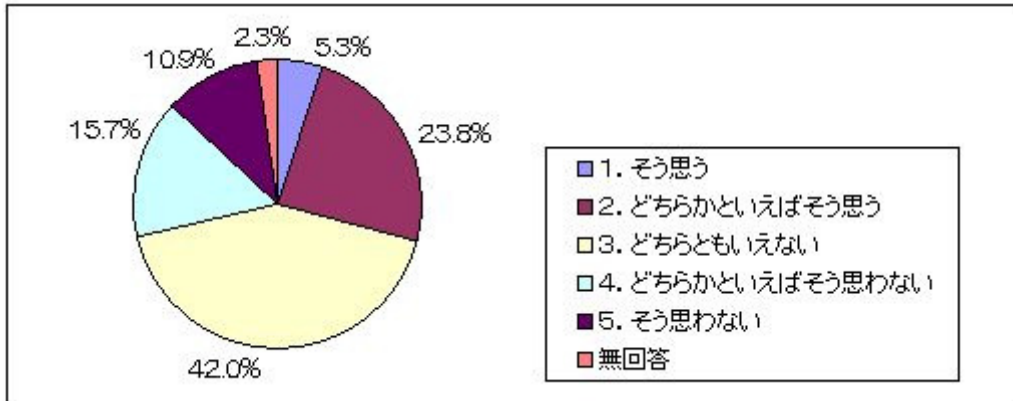
また、「避難場所が知らされていないし、経路もわからない」「避難場所が遠く避難できない」「避難場所として適切でないところがある」といった、避難場所に関する意見もありました。



17 南丹市は、防災の面で安心して暮らせるまち？

原子力発電所事故が心配

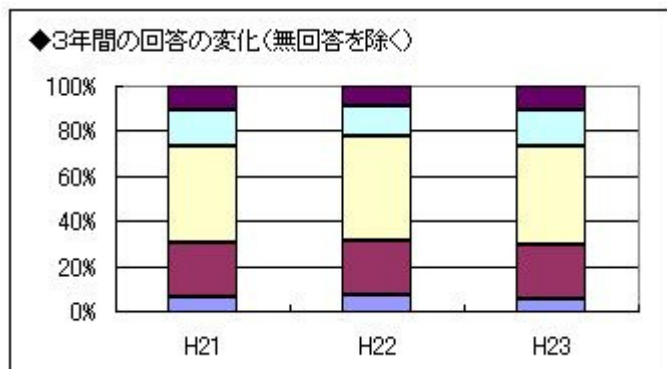
「安心して暮らせない」4%増加！



「南丹市は、防災の面で安心して暮らせるまちか」という問では、「安心して暮らせる」または「どちらかといえば安心して暮らせる」と回答された方は29.1%と、昨年度の調査に比べると1.8ポイント減となりました。

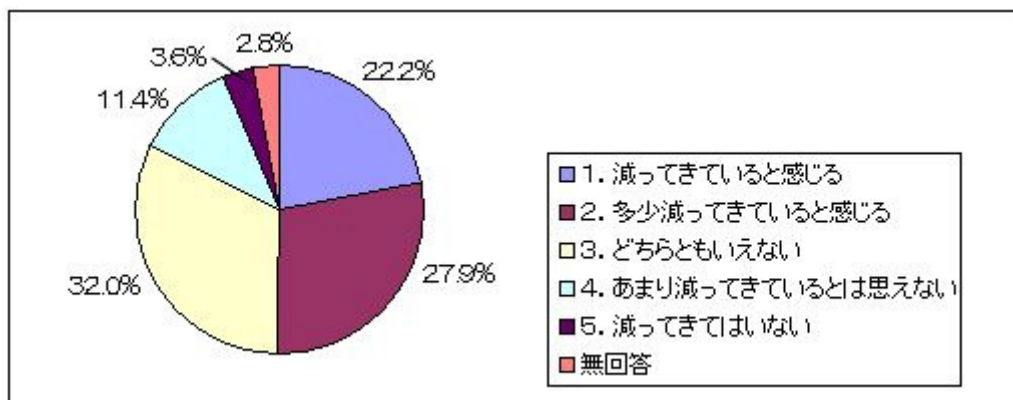
一方、「安心して暮らせない」または「どちらかといえば安心して暮らせない」と回答された方は26.6%と、昨年度の調査に比べ4.7ポイント増となりました。

安心して暮らせる要因として、地域力や消防団の活躍を挙げる方が多くおられる一方、安心して暮らせないと答えた方は「原子力発電所の事故が心配」との意見が多くありました。



18 南丹市において、差別が減ってきていると感じるか？

「減ってきている」が過半数！



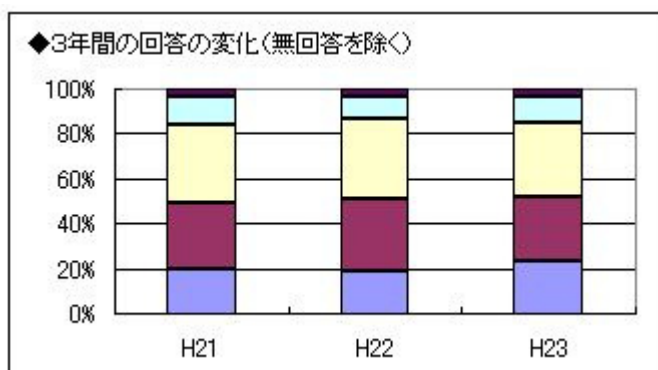
「南丹市において、これらの差別が減ってきていると感じるか」という問では、50.1%の方が「減ってきている」または「多少減ってきている」と回答しています。

これは、昨年度調査とほぼ同じで、過半数を超える結果となりました。

また、「減っていない」または「あまり減っていない」と回答された方については15.0%と、昨年度の調査結果から1.4ポイント増加しました。

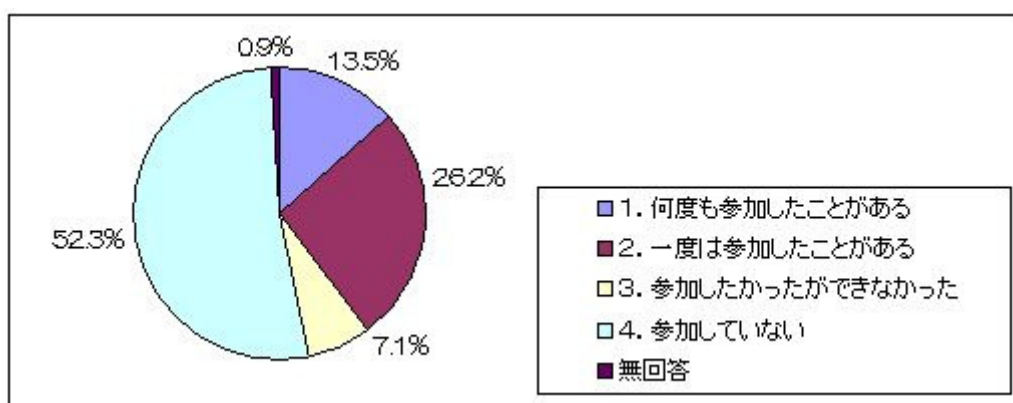
回答者の意見は、「昔に比べて減っていると思う」「自分の周りでは差別を感じなくなった」といったものが多くなっています。

ただし、「差別している人は確実にいる」「表面的に見えないだけで減っていない」「日常生活、仕事面など男女平等とはいえない」という意見もあります。



19 人権問題に関する勉強会等に参加したか？

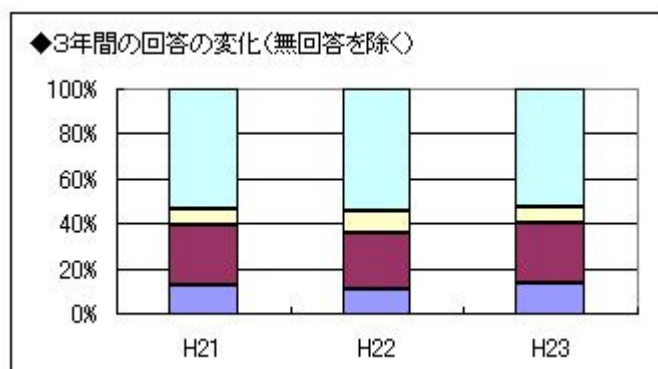
市民の半数以上が、 勉強会等に参加されていない！



「過去1年間に、人権問題に関する勉強会等に参加したか」という問に対して、29.7%の方が「1回以上参加した」と回答しています。

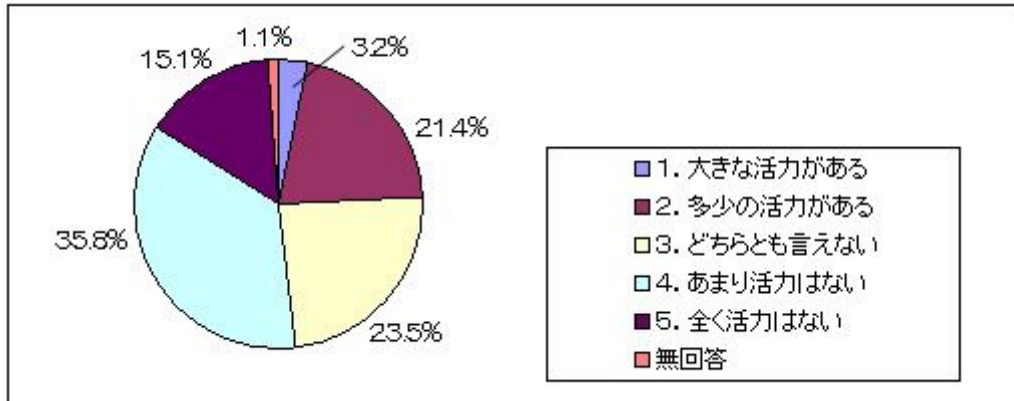
しかし、52.3%の方が「参加していない」と回答しており、「参加したかったが参加できなかった」という方を含めると、59.4%、約3人に2人は勉強会に参加していないことになります。

また、「参加した」と回答した方の多くは、学校やPTAが主催する人権学習会、区が開催する研修会、職場の研修が主で、「参加していない」と答えた方は「テーマが同じでつまらない」「忙しくていけない」「わざわざ出かけて勉強しなくても個人でする」といった意見がありました。



20 住んでいる地域には活力があるか？

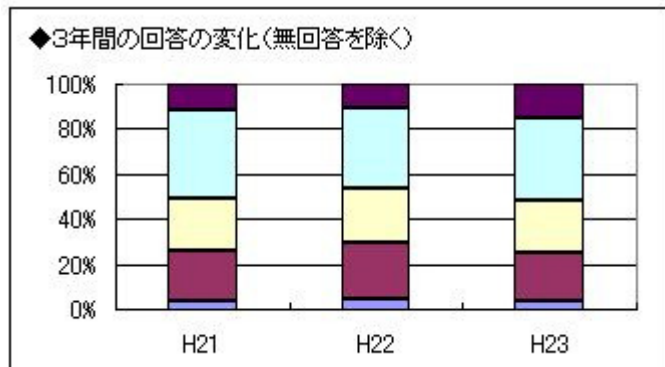
市民の半数以上が、
「地域に活力がない」と感じている！



「住んでいる地域に活力があるか」という問に対して、「大きな活力がある」または「多少の活力はある」と答えた方は24.6%と、昨年度調査の結果よりも4.5ポイント減っています。

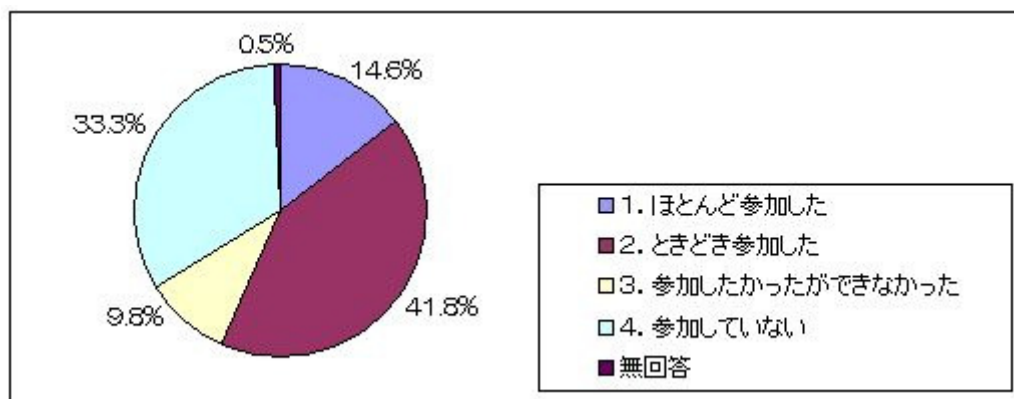
また、「全く活力はない」または「あまり活力はない」と答えた方は、昨年度の調査結果よりも4.7ポイント増え50.9%となりました。

住所別では「大きな活力がある」または「多少の活力はある」と答えた方が美山町では44.9%であるのに対し、他の3町では20%前後と大きな差がありました。「地域活動にみんなで取り組んでいる」「若い人たちが行事などをしてくれる」という意見がある一方で、「子どもが少なく高齢化が進んでいる」「生活基盤が不安定な人が増え、地域のこと積極的になれない人が増えた」「住民の一体感がない」といった意見もありました。



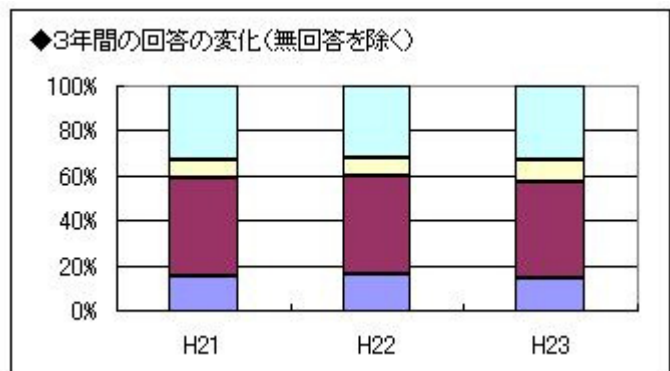
21 地域における活動や市民の自主的な活動に参加したか？

市民の約6割が、地域活動に参加されている！



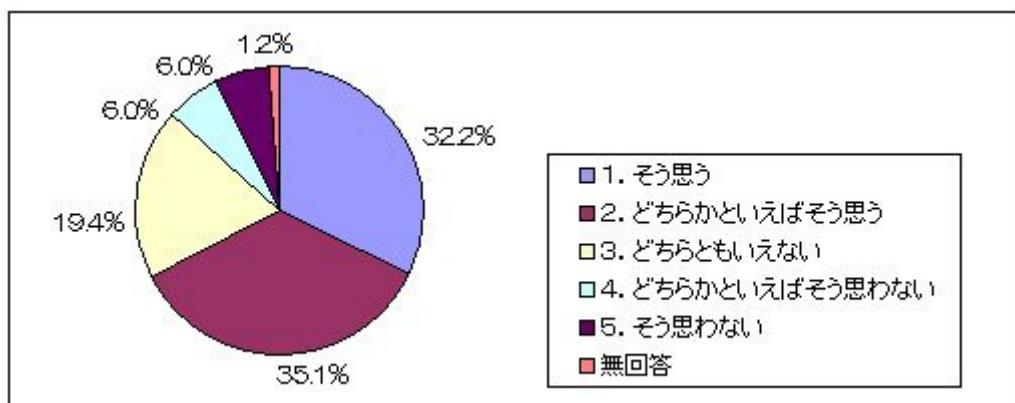
「過去1年間で、地域におけるさまざまな活動や、市民における自主的な活動に参加したか」という問いに対しては、56.4%の方が「ほとんど参加した」または「ときどき参加した」と回答されており、昨年度の調査結果との差はありませんでした。

また、地域の活動に参加されている方は、40代よりも上の方が多く、50代、60代では70%近い方が地域の活動などに参加されています。



22 地域で培われてきた文化などを自分たちが引き継ぐのか？

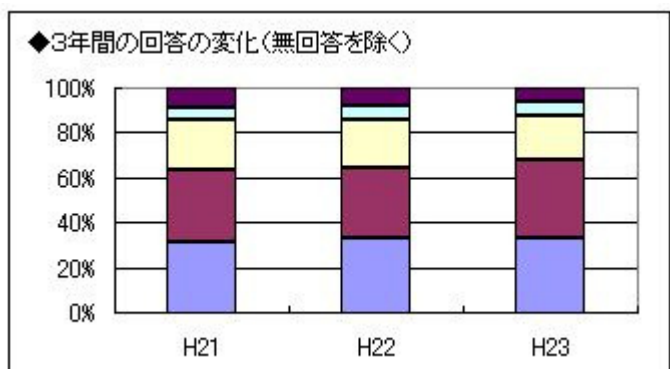
市民の3人に2人が、
伝統や文化を大切にしたい気持ちがある！



「地域で培われてきた風俗や伝統、文化などについて、自分たちが引き継いでいかなければならないと思うか」という問では、昨年度調査から3.9%増の67.3%の方が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えています。

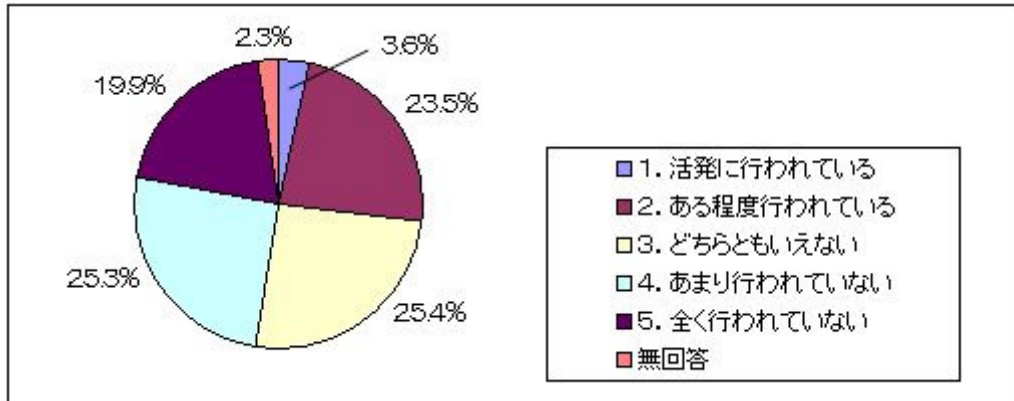
一方、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と答えた方は、昨年度調査から2.1%減の12.1%でした。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を含むと回答された方からは、「地域や区の存続のために必要」「伝統や文化を後世に伝えることは私たちの義務」「祭りや行事など良いことは守っていきたい」と答えられているのに対し、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を含むと回答された方からは、「守るべきものはあるが住民の負担が大きすぎる」「引き継ぐには若い人の理解が必要」「引き継ぐべきものと無くせばいいものがある」という意見がありました。



23 地域と大学などとの交流・連携は活発か？

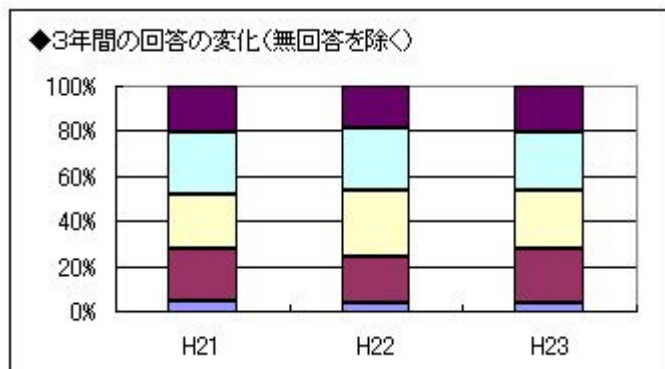
市民の約半数が、大学との交流・連携は活発に行われていないと感じている！



「自分の住まわれている地域において、大学などと、さまざまな分野の交流・連携が活発に行われているか」という問いに対し、27.1%の方が「活発に行われている」または「ある程度行われている」と回答され、昨年度調査の結果を 3.6 ポイント上回りました。

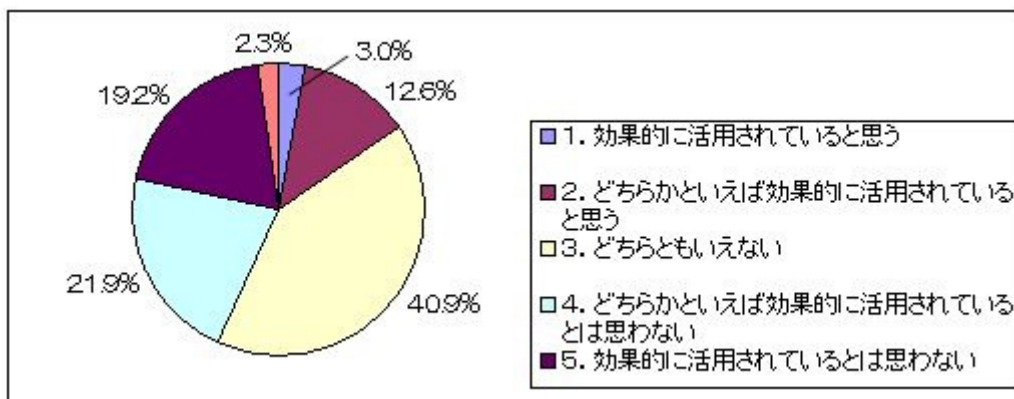
また、「活発に行われていない」または「あまり活発に行われていない」という回答についても、昨年度調査の結果とほぼ同

じ 45.2%となりました。「活発に行われている」と答えた方は、美山町では 50.4%、他の3町では 20%前後と差が大きく、「交流は行われているがどのように生かされているかわからない」「市内の学校ともっと交流すべき」といった意見がありました。



24 税金がまちづくりに効果的に活用されているか？

「効果的に活用されているとは思えない」と思う市民が約4割

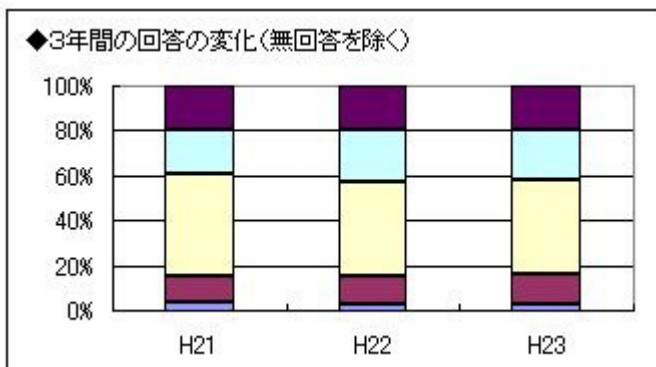


「市民の税金がまちづくりに効果的に活用されているか」という問に対して、「効果的に活用されている」と答えた方は3.0%、「どちらかといえば効果的に使われている」を併せても15.6%しかありませんでした。

一方、「効果的に活用されていない」と答えた方は19.2%で、「どちらかといえば効果的に活用されていない」を併せると41.1%となり、昨年度の調査結果とほぼ同じ結果となりました。

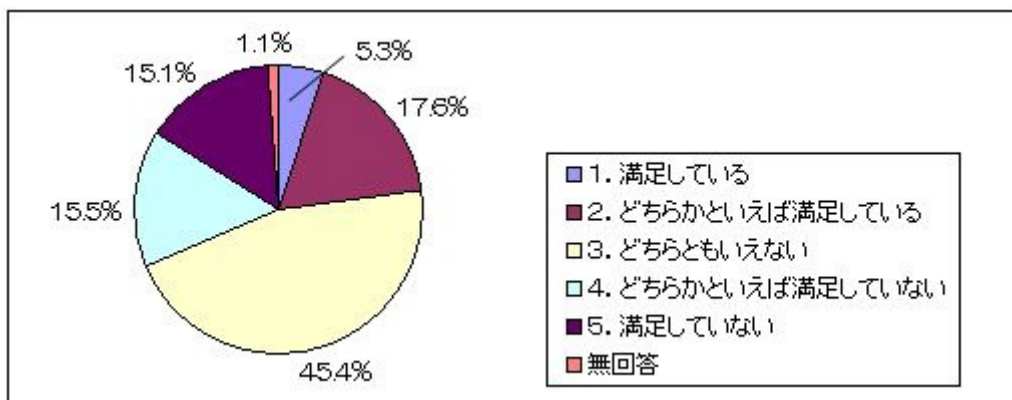
「効果的に活用されていない」（「どちらかといえば効果的に活用されていない」を含む）を選ばれた理由として、「道路整備などに地域差がある」「本庁と支所の二重行政の解消が進んでいない」「何に税金が使われているのか実感がない」などの意見がありました。

また、「どちらともいえない」とする回答が、昨年度調査とほぼ同じ40.9%と依然40%を超える状況にあることも特徴的です。



25-1 南丹市が行っている行政サービスに満足しているか？

市民の満足度は1%減少！



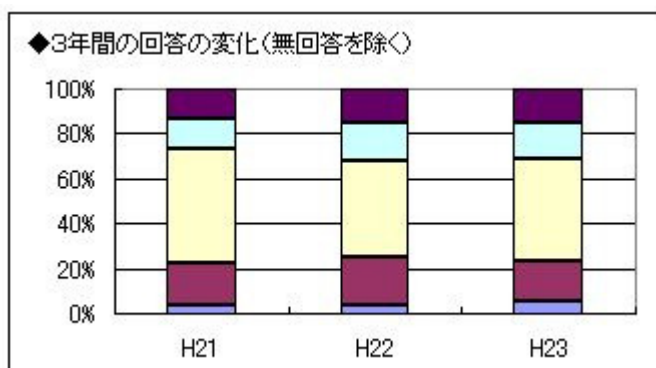
「総合的にみて、南丹市が行っている行政サービスに満足しているか」という問では、22.9%の方が「満足している」または「どちらかといえば満足している」と答えています。

また、「満足していない」または「どちらかといえば満足していない」と回答された方は30.6%となっています。

昨年度の調査結果と比べると、「満足している」（「どちらかといえば満足している」を含む）と回答された方が1.5ポイント、「満足していない」（「どちらかといえば満足していない」を含む）と回答された方は0.9ポイントもいずれも減少しています。

また、「どちらともいえない」と回答されている方の割合が依然高く、45.4%となっています。

「満足している」と回答した方からは、「市の投書箱に書いた意見が反映された」「職員の頑張っ



いる姿を見る」という意見がありました。

一方、「満足していない」と回答した方からは、「議員、職員の一部は自分のことばかり考えている」「行政サービスを見直して税金の有効活用をしてほしい」「行政サービスが市全体に行き届いていない」という意見がありました。

25-2 行っている行政サービスに満足できない理由は？

市役所(職員)の対応に不満を感じている!?

問 25 で、「4. どちらかといえば満足していない」または「5. 満足していない」を選んだ方にどのような点が不満かを聞きました。

最も多かった意見は、「市役所(職員)の対応」でした。

主な意見は下記のとおりです。

不 満 の 理 由	回答件数
市役所(職員)の対応	17 件
サービスに対する説明・情報不足	15 件
サービスにおける地域間格差	12 件
交通の便の悪さ	12 件
市役所、図書館の閉庁、閉館	4 件

「市民からの意見」

「困っていること」「心配していること」は？

医療・福祉に関する心配ごとが1位！

「日常生活の中で、今困っていることや、心配していることはないか」という質問に対して、228件のご意見がありました。

医療・福祉に関する意見が27件で最も多く、次いで地域公共交通に関するものが26件ありました。

「困っていること」「心配していること」として意見が多かった項目は下記のとおりです。

- 1位：医療・福祉について 27件
「病気をしたときなど、自宅から病院までが遠いのが心配」
「寝たきりになったときの施設が思うように無い」 など
- 2位：地域公共交通機関について 26件
「交通手段が無く、高齢者のみの生活では日常生活の買い物にいけない」
「通学の交通の便が悪く、親の負担が大きい」 など
- 3位：後継者・担い手不足について 10件
「高齢化が進む中で農作業や地域の出役ができなくなってきた」
「若者の職が少なく地元に戻ってこられない」 など
- 3位：老後への不安について 10件
「年金だけでは生活できない」
「親の介護や自分が高齢になったときの不安を感じる」 など
- 5位：通学路などの安全について 8件
「街灯が少なく夜道が危ない」 など

南丹市のまちづくりに対する提案・意見は？

市が行う施策や事業の方向性を明確に！

南丹市のまちづくりに対して、提案やご意見をお聞きしたところ、204件のご意見をいただきました。主なものは次のとおりです。

- 市が行う施策や事業の取り組む姿勢に関する事
- 公共交通機関の充実・整備に関する事
- 市職員の資質向上に関する事
- 商業の活性化に関する事
- 市内における道路網の整備・充実に関する事
- 市民協働の推進に関する事
- 若者定住に向けた取り組みに関する事
- 駅舎及び駅周辺の整備に関する事
- 市街地活性化を含め、まちづくりや地域の活性化に関する事

